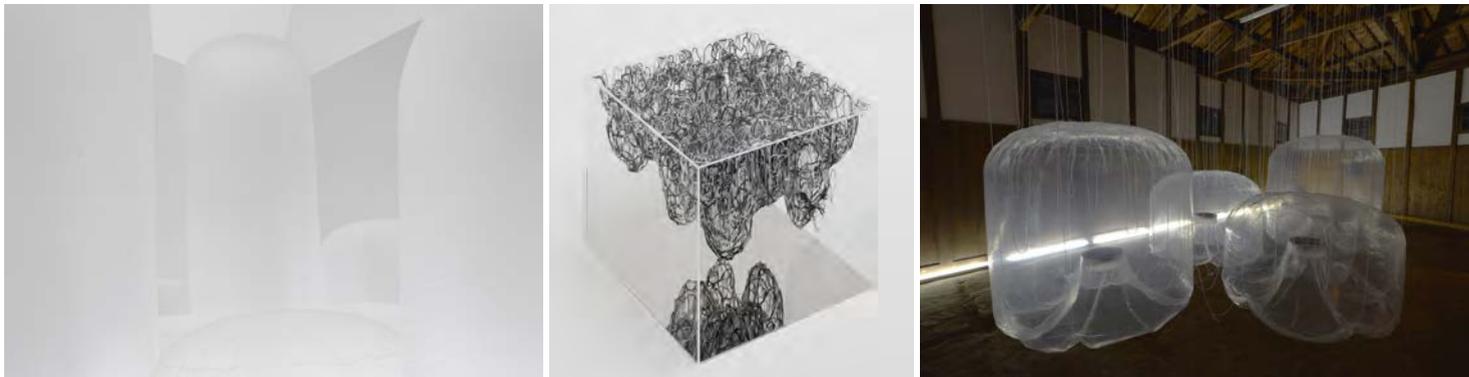


◎ ACG プレスリリース  
— 展覧会開催のご案内 —

## 大西康明「空間の縁」 Yasuaki Onishi: Edges



この度アートコートギャラリーでは、国際的に注目を集める現代彫刻家・大西康明(1979-)による展覧会「空間の縁」を開催いたします。大西康明は、空洞や余白と呼ばれる「ネガ」の空間を、体積・重力・距離といったテーマで視覚化する彫刻作品を制作してきました。接着剤やポリシートなどの形態を定めにくい素材を用いて、人為と自然との境界にある形を繊細な感覚でトレースし、輪郭を与えてゆきます。本展では、新作《空間の縁》を中心に、飛躍的な展開を見せる彫刻作品《体積の内側》、前後／奥行きを反転をキーワードに制作する平面作品《plate of traces》を発表します。

制作は現在の境界線を明らかにし、輪郭を更新するような作業です。

作品と空間を共にする身体感覚に働きかけ、人の手を超える体系を暗示させながら、この世界やその裏側を知る方法を探っています。形に留めにくい素材を使って、空間を大きく変えるような作品を制作しています。それは特定の事象を示すものではなく、解釈を見る者に大きく委ねる彫刻です。

接着剤による無数の線や空気を囲うポリシートの膜は、空間に注がれた自身の行為やそれを経た作用が溜め込まれていく容器のように機能します。

「それいがい」を扱うことで、「そのもの」がくっきりと見えてくること。その先や向こう側に思いを巡らせ、空洞や空白を想像力で補完することで、少ない手がかりを基に、人はそれぞれの実体を得ることが可能です。

大西康明

### 【作品解説】

光の階調を満たしながら膨張と収縮を繰り返す複数のバルーン《空間の縁》。特定の事象を象らない大西の作品は、そのスケールや表裏、前後といった概念を心地よく裏返し、観る者の無量無辺の想像力や思考を溜め込む器として機能します。場所の特性を注意深く観察し、シンプルな要素で相互関係を仕掛けながら展示空間を彫刻してゆく大西。作品を外側から眺めつつも身体は内側に取り込まれる経験の中で、鑑賞者は時に無機質な素材から有機的な存在を感じ、時に巨大／微小なものを想起し、幾重にも転換する次元の中で分裂—結合の交差を繰り返します。作品から獲得するイメージは速度を増して次々と転回し、あらゆる方向へと想像力が開かれてゆきます。

柔らかな素材はまた、行為の軌跡＝時間を溜め込むと同時に、重力・気流・現象などの不可視の存在と人為とがせめぎ合う形を留めます。

パネルに接着剤を塗り込めたのちに圧着・再加熱・引掻きなどを繰り返す《plate of traces》、立方体の中の「空洞」を彫刻し、多方の鑑賞点を持つ《体積の内側》。無数の細い垂直線に吊られたポリシートの皮膜が浮かぶ代表作《体積の裏側》にも通底するその揺らぎを孕んだ造形は、「虚空」や「変化」を基軸とする、軽やかな新しい彫刻のかたちを提示します。

### 【展覧会概要】

展覧会名：大西康明「空間の縁」

会期：2017年1月14日(土)～2月18日(土)

会場：アートコートギャラリー

トーク：1月14日(土) 15:00～16:00 [加須屋月子(京都市立芸術大学教授)×大西康明]

レセプション：1月14日(土) 16:00～17:00

\*トークは要予約、参加費無料。お申し込みはアートコートギャラリーまで

主催：アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント)

協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、

三菱地所プロパティマネジメント株式会社

images: 左から▶《垂直の量》ポリエチレンシート、タイマー、ファン、他 / 800×573×890 cm(インсталレーション) / 2014 |

《体積の内側 16T1》接着剤、アクリルボックス、ステンレススチール / 30×30×30 cm / 2016 | 《時間の溝 空間の縁》ポリシート、糸、ファン、タイマー、他 / 180×φ180 cm / 2016

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。 ※冬季休業：2016年12月29日(木)～2017年1月4日(水)  
〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com URL:www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース

## 大西 康明 Yasuaki Onishi

1979 大阪府生まれ  
2001 筑波大学芸術専門学群美術専攻卒業  
2004 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

### |主な個展|

2016 reverse of volume (Les Champs Libres、レンヌ|フランス)  
VERTICAL VOLUME (The Mine、ドバイ|UAE)  
reverse of volume (Arte Sella、ボルゴ・ヴァルスガーナ|イタリア)  
2015 重力の輪郭 contour of gravity (GALLERY OUT of PLACE TOKIO、東京)  
縄文と現代 vol.3—浸透する器 (京都造形芸術大学美術館)  
2014 vertical emptiness (GALLERY OUT of PLACE TOKIO、東京)  
2013 reverse of volume (JOICE GALLERY、北京|中国)  
2012 inner space (Wilfrid Israel Museum、Hazorea|イスラエル)  
reverse of volume (Rice Gallery、ヒューストン|アメリカ)  
2011 体積の裏側 (愛知県美術館、名古屋)  
2010 reverse of volume (Vermont Studio Center Red Mill Gallery、Johnson|アメリカ)  
horizontal forest (Not Quite Gallery、Fengersfors|スウェーデン)  
ridge of boundary (para\_SITE Gallery、グラーツ|オーストリア)  
reverse of volume (KINOKINO Centre for Art and Film/Sandnes|ノルウェー)  
2008 mountair (KONGSI、Enschede|オランダ)  
dairy distance (Sølyst Artists in Residence Centre、Jyderup|デンマーク)  
2007 表裏の隙間 (PANTALOON、大阪)  
inner skin (neutron、京都)  
2005 呼吸星雲 (INAX GALLERY 2、東京)

### |主なグループ展|

2016 Islamic Arts Festival (Sharjah Art Museum、シャールジャ|UAE)  
龍野アートプロジェクト 2016 国際芸術祭 時空の共振 (龍野町、兵庫)  
物質性-非物質性 デザイン&イノベーション (京都dddギャラリー)  
SURFACING EARTH (Röda Sten Konsthall、ヨーテボリ|スウェーデン)  
2015 学園前アートウィーク2015 (帝塚山大学、奈良)  
MAISON BLEU STUDIO (L'Espace Communes、パリ|フランス)  
from 8 Selection/Collection セレクト・コレクト スエヒロガリ展 (Gallery OUT of PLACE NARA、奈良)  
東京藝術大学彫刻科第三研究室企画第四回ドローイング展 [招待作家]大西康明、小谷元彦 (銀座 澁谷画廊、東京)  
Erosion/Transfiguration—侵蝕と変容の先の可能性— (瑞雲庵、京都)  
Reliefs (Frac Centre、オルレアン|フランス)  
Seeing Time - Time Traveler (Kala Gallery、バークレー|USA)  
2014 Maison & Objet Trend Exhibition -Landscape (Paris Nord Villepinte HALL 7、パリ|フランス)  
想像しなおし (福岡市美術館)  
2013 The Mine -Launch Event (The Mine、ドバイ|UAE)  
Mono No Aware. Japanese Contemporary Art (エルミタージュ美術館、サンクトペテルブルク|ロシア)  
HANARART 2013 (郡山城下町エリア 堺町ゾーン、大和郡山、奈良)  
六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2013 (六甲オルゴールミュージアム 他、神戸)  
dreamscape —うたかたの扉 (京都芸術センター、京都)  
2012 agorà -Miniartextil (Villa Olmo、コモ|イタリア)  
2011 世界制作の方法 (国立国際美術館、大阪)  
Japan Media Arts Festival (Hardware MedienKunst Verein Dortmund U、ドルトムント|ドイツ)  
2010 The Transforming State (Religare Arts Initiative、デリー|インド)  
Art Court Frontier #8 (アートコートギャラリー、大阪)

© ACG プレスリリース

## 大西 康明 Yasuaki Onishi

### |主なグループ展|

- 2009 Against The Sculptural (Seoul Museum of Art、ソウル | 韓国)  
HOME (国際芸術センター青森)  
Residency Project Part2 (Kala Gallery、バークレー | アメリカ)  
SU:MBISORI (Jeju Museum of Art、済州 | 韓国)
- 2008 point éphémère (Bunkamura Gallery、東京)  
大開眼界 Eyes Curiosity -Japanese Contemporary Art (Soka Contemporary Space、台北 | 台湾)
- 2007 新進アーティストの発見 in あいち (愛知芸術文化センター)
- 2006 気配をけて piano, piano (大阪築港赤レンガ倉庫、大阪)
- 2005 京都府美術工芸新鋭選抜展 (京都市美術館)
- 2004 とよた美術展 '04 (豊田市美術館、愛知)

### |主な受賞|

- 2014 平成25年度 第31回咲くやこの花賞
- 2012 メディア芸術クリエイター育成支援事業
- 2011 ポーラ美術振興財団在外研修員としてイギリスにて研修
- 2010 Vermont Studio Center U.S. Japan Foundation Fellowship  
The Pollock-Krasner Foundation
- 2007 第1回秀桜基金留学賞  
第10回岡本太郎現代芸術賞展〈太郎賞〉
- 2006 文化庁メディア芸術祭 アート部門 審査委員会推薦作品

### |アーティストインレジデンス|

- 2012 Oficinas do Convento / Montemor-o-Novo | ポルトガル
- 2010 Vermont Studio Center U.S. Japan Foundation Fellowship / Johnson | アメリカ  
Not Quite guest artist / Fengersfors | スウェーデン  
The WhyNot Place Religare Arts Initiative / Delhi | インド  
Rondo Studio / Graz | オーストリア  
AiR Sandnes / Sandnes | ノルウェー
- 2009 国際芸術センター青森 / 青森  
Kala Art Institute Fellowship / Berkeley | アメリカ  
IASK Asia Pacific Artists Fellowship Residency Program / 高陽 | 韓国
- 2008 Kunstenaarsinitiatief B93 / Enschede | オランダ  
Sølyst Artists in Residence / Jyderup | デンマーク



▲ 《体積の裏側 RG》 接着剤、ポリエチレンシート、他 / 470×1,340×1,210 cm / 2012 | Rice Gallery, Houston, USA | photo: Nash Baker

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [八木・灰田]

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com URL:www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース

▪ ビジュアル資料



▲ 《時間の溝 空間の縁》  
ポリエチレンシート、ファン、タイマー、糸、他 | 180×φ180 cm | 2016



▲ 《plate of traces 1405》  
接着剤、グラファイト、アルミニウム、パネル | 53×45.7 cm | 2014



▲ 《体積の内側 16T1》  
接着剤、アクリルボックス、ステンレススチール | 30×30×30 cm | 2016